聖陵 Sei-Ryou

2016.3 Vol.19
盛岡大学聖陵同窓会報

発行者／盛岡大学聖陵同窓会
事務局／〒020-0694
岩手県滝沢市砂込 808 盛岡大学内
電話 .019-688-5555
ホームページアドレス
http://www.morioka-u.ac.jp/seiryou/

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

CONTENTS

■ 同窓会長あいさつ …… 1
■ ホームカミングデー …… 2
■ 校舎増築工事 …… 2
■ 児童・生徒の学び舎プロジェクト …… 3
■ 卒業生は今 …… 3
■ 活躍する在学生 …… 3
■ インフォメーション …… 4
■ 事務局だより …… 4
■ 編集後記 …… 4

同窓会長 あいさつ

盛岡大学聖陵同窓会
会長
菅原　元

盛岡大学の財務力が堅調です

昨年十一月発行の週刊ダイヤモンド誌の中に「私立大学財務力ランキング」の記事が掲載されており、盛岡大学は全437大学の中で153位にランクされておりました。（東北では、3位）これは、大学の収入、利益率、自己資金比率を計数化した総合評価になります。

現在大学は、過去の負債を圧縮しつつ、東日本大震災で被災した学生の授業料減免措置継続、教室の机や椅子の更新、そして教育環境のさらなる充実を図っており、その代表が8月完成の新校舎です。（詳細は特集記事にて）念願の同窓会室も設置の予定です。皆様へは来年のホームカミングデーの中で御案内出来るようにして参りますのでご期待下さい。

次に同窓会事業を2点、報告致します。1つ目は、今年度のホームカミングデーが昨年度を上回る78名の参加をいただきました。当日は、盛岡大学出身のアーティスト桜田マコトさん（平成2年度英米卒）のステージパフォーマンスに大いに盛り上がりました。私個人として桜田さんと同世代で、オフコースファンでしたので、まさに学生時代にタイムスリップでした。その後、キャンパスツアーが開催され、校舎の裏側まで見せていただきました。同窓会役員、スタッフの運営御協力に深く感謝致します。2つ目はさんさ踊りです。我々同窓生の盛大ドリーム33チームはお陰様で初日の参加で優秀賞を受賞しました。そして現役学生達は3日目に参加、最優秀賞8連覇を狙ったのですが、惜しくも優秀賞でほろ苦い経験を体験していました。この悔しさを今後は、我々ドリームさんさで夢の最優秀賞受賞に向けて一緒にやって行きましょう。

終わりに今後共、盛岡大学聖陵同窓会に対して御指導、ご声援をお願い致します。

ホームカミングデー

平成二十七年十月十日、第三回ホームカミングデーを開催しました。当日は天気にも恵まれ、たくさんの同窓生の皆様にご参加いただきました。

今年度からは、聖陵同窓会主催、盛岡大学・盛岡大学短期大学部と盛岡大学短期大学部同窓会アネモネ会との共催という形で開催したホームカミングデー。どのような企画があれば、参加する皆様により楽しんでいただけるか、学生時代を思い返しながら準備を行いました。

歓迎レセプションでは、盛岡大学さんさ踊り実行委員会がさんさ踊りを披露。今年は、さんさ対決として同窓生で結成されている「盛大ドリーム33(さんさ)」も参加し競演しました。また、青森県を中心にプロのシンガーソングライターとして活動している、英米文学科卒業の桜田マコトさんによるスペシャルライブも行われ、終始活気あるレセプションになりました。(桜田マコトさんの紹介はP3参照)

「懐かしの先生を囲んで」のコーナーでは、現役の先生以外にも阿部治雄先生、牛越恂先生、西俊六先生、日景敏夫先生、藤沢攻先生をお招きし、フリートークを楽しみました。先生だけでなく、久しぶりに再会する旧友との会話にも花が咲き、楽しそうな笑い声が聞こえてきました。

そして、初の企画である「キャンパスツアー」では、大学棟屋上や理事長室等、教職員でも普段立ち入らない場所を見学することができました。なかでも大学棟屋上へ向かうための「隠し通路」や「隠し部屋」を通った時は大興奮。屋上は、岩手山の絶景スポットになっており、皆が思わずカメラや携帯電話を手に撮影していました。岩手山をバックにして撮った記念写真は素敵な思い出になったのではないでしょうか。

ご協力、ご参加いただきました皆様には心より感謝申し上げるとともに、ぜひ次回も皆様方と楽しい時間を過ごせることを心待ちにしております。

校舎増築工事は順調に進んでいます！

現在学校法人盛岡大学では、今年夏の完成を目指して、校舎増築工事を行っています。施工は鹿島建設㈱、工事は順調に進んでいます。

前号でもお知らせしましたが、既存A校舎北側に、鉄筋コンクリート造二階建て延床面積約2,000㎡の建物を建築中です。

この建物のコンセプトは「自由」と言っても過言ではないでしょう…何と言っても目玉は「学生ラウンジ」「トイレ、パウダールーム」「多目的な教室、演習室」です。

「学生ラウンジ」は、1F玄関南側の約170㎡のスペースです。東側壁面（体育館側）は全面ガラス張りのカーテンウォールを取り付け、床は全面暖房、天井までの高さが約7メートルの吹き抜けになっており、高い天井が開放感を演出します。「トイレ」は、快適で清潔感のあるスペースを1F・2Fに設置、人感センサー照明、シャワー付暖房便座、擬音装置、センサー給水手洗い、開閉に場所をとらない個室回転スライド式ドア、赤ちゃんのおむつ交換台など設備が充実。特に1Fには男性用女性用それぞれに子供用の便器を設置します。もちろん障害者優先用、車椅子対応用の多目的トイレも設置します。「パウダールーム」は女性専用スペースです。1F女性用トイレに併設する専用の化粧室となります。近年、デパートや駅などのトイレに設けられている「パウダールーム」、これを盛岡大学にも設置することになりました。鏡、洗面化粧台、大きな姿見など高級感と落ち着きのある空間となります。「教室、演習室」は7室設置されます。広さ大きさも大小さまざまで、特に2Fのプレイルーム兼教室は広さが約420㎡、天井までの高さも4・4メートルと、他の部屋よりも高さを強調しています。可動式パーテーションによって部屋を仕切ることもでき、また室内には可動ステージ、大型スクリーン等を設置、イベントやプレゼンテーションなどを行うことも可能です。1Fの多目的演習室は、子供が遊具を使って活動できるように、ソフトな床と壁、大きな収納スペースを設けます。このほか、教員養成サポートセンター、保健室、学生相談室、さんさ踊り用の太鼓約100個を保管できる収納庫、同窓会室なども設置されます。オール電化でバリアフリーの新校舎、是非期待してください。

児童・生徒の学び舎プロジェクト

文学部児童教育学科 4年　山﨑　友紀

「盛岡大学の豊かな環境と、たくさんの雪を使って子どもたちとかかわりたい」という学生の想いが後輩へと引き継がれ、昨年度から、地域連携センター、教員養成サポートセンターの支援を受け、『児童・生徒の学び舎プロジェクト』が始まりました。目的は、盛岡大学の学生と地域の児童・生徒などとの交流を深めること、学習をサポートすることやキャリア教育の機会を提供すること、活動を通して学生自身が企画する力や、地域の児童・生徒とのかかわりを通して教育支援力を高めることです。このプロジェクトでは、学生自身で何ができるのかを考え、話し合い、企画するということを学んでいます。それと同時に楽しいイベントを提供することで、子どもたちにも学びがあり、お互いに学び合うことができる活動となっています。

今年度は 8 月 4 日に滝沢市内の小学生 95 名を対象に「もりの夏休み大作戦」、2 月 5 日に附属幼稚園の園児 41 名、2 月 7 日に滝沢市内の小学生 36 名を対象に「ふゆの雪まつり大作戦」を実施しました。夏の行事では大学の階段教室を使った寺子屋やゲーム、うちわ作り、すいか割りを行いました。冬の行事では、雪が少なく雪遊びは出来なかったのですが、お面作りや遊び、寺子屋、体育館遊びを行い、子どもたちに楽しんでもらうことができました。

現在 69 名の学生が登録し活動している『児童・生徒の学び舎プロジェクト』が、これから盛岡大学の伝統となり、地域の方々や子供たちから親しみのある大学として受け入れられるよう、学生一同協力し合い、楽しい企画をたくさん提供していきたいと思います。

卒業生は今

文学部英米文学科（現英語文化学科）
平成 2 年度卒
桜田マコトさん

ちょうど 30 年前の 1986 年 3 月、受験結果が発表された。

実家は輸入食品を扱っており元々英語に興味を持っていた為、盛岡大学への合格はとても嬉しく、更に入学式で誓いの言葉を読む大役を頂き、決意も新たに盛岡での新生活が始まった。

初めての一人暮らし、期待と不安の入り混じったスタートではあったが、自分の可能性を試す挑戦の日々は学業だけにとどまらず、英語と同じくらい大好きな音楽を通じて、軽音楽部での活動にも力を注いだ。

大学時代に培った熱い友情は、先輩後輩そして仲間たちとの深い絆と共に現在の私の 22 年という音楽家としてのキャリアを形成している。

そしてカナダ・カモーソン大学への初の交換留学生としての切符を手にした貴重な一年間の経験。青春時代の飽くなき挑戦の旅は、この学び舎から始まった事を改めて確信する。

語りきれない数々の思い出を携えて昨年、ホームカミングデーへ参加。盛大さんさチームと一緒に歌ったステージは 30 年という時代を超えて未来へと続くメロディを奏で始めた。

文学部児童教育学科
平成 18 年度卒業
吉田　卓さん

私は平成 19 年度に当時の滝沢村役場に採用になり、現在は滝沢市教育委員会に勤務しています。市内小中学校の施設管理を担当しており、教員としてではないですが、違った形で学校教育に携わっています。

大学時代はソフトボール部に所属し、全日本インカレに 2 回出場することができました。

この頃から平成 28 年の岩手国体出場を目標とするようになり、現在も競技を続けています。昨シーズン、岩手県成年男子は国体の東北予選で 28 年振りに優勝をおさめ、16 年振りに国体出場を果たすことができました。和歌山国体では、私を含め盛大 OB 選手が 6 名出場し、初戦敗退ではありましたが国体の舞台を経験することができました。

今シーズンは、いよいよ 10 月に岩手国体が開催されます。大学時代から思い描いていた舞台で活躍できるように、そして、競技を通じて少しでも岩手の力になれるようにチームメイトと共に頑張っていきます。

活躍する在学生

希望郷いわて国体
スキー競技出場

文学部児童教育学科 2 年
米田　啓拳さん

スキー部の部員は男子 3 人、女子 3 人の計 6 人です。競技は、アルペン、スペシャルジャンプ、コンバインドの計 3 種目です。スキー部のトレーニングは、夏の平日は、ランニングで時間走やスピードなどを行い持久力、体幹やウエイトで筋肉の補強、そしてバランス力などを鍛えています。土日などの祝日は田山スキー場や花輪スキー場に行って、ジャンプ・ローラースキーと実践練習を行っています。冬は 11 月末から大会が始まるので、そこからは各自で調整をして、本番に臨みます。北海道の札幌や名寄で冬最初の大会があって、2 月の中頃には国体が始まり、その後続いて、インカレとなります。インカレはまだ男子 3 部、女子 2 部ですが、ポイントを稼いで 1 部昇格を目指しています。それとともに、表彰台に立つことでしっかりと盛岡大学をアピールしていきます。

希望郷いわて国体
カヌー競技出場予定

文学部日本文学科 4 年
飛澤　優海さん

私は岩手国体で岩手のポイントに貢献できることを目標に、中学生の頃からカヌーを続けてきました。盛岡大学にはカヌー部はありませんが、応援してくださった日本文学科の先生方のおかげで大学でも競技を続けることが出来たのだと思います。

私は春から夢だった教壇に立ちます。自分がずっと続けてきた競技があるということは、教員採用試験の面接の際も強みになりました。大学生になって、高校生まで続けてきたスポーツを競技ではなくサークル活動で続ける人も多くなりますが、勉強や遊びと共に本気でスポーツに取り組むことも、充実した大学生活のひとつの形ではないかと思います。

information
運動部部室棟が完成

これまでそれぞれの部で設置していた部室に替わり、新しい部室棟が完成しました。

主に外で活動する部活の部室として使用されます。

「水道・照明・換気設備や収納棚も備え付けられ、使いやすい部室になった。」とのことでした。

場所：砂込キャンパス
　　グラウンド南側
構造：木造平屋建て
　　（1室20㎡ 8室）

アンケート協力のお願い

盛岡大学からのお願いです。現在、大学では今後の広報・学生募集活動のため、大学を表すキャッチコピー、大学の強み等の調査をしております。卒業生の皆様にも「大学の強み」「大学を選んで入学していただいた理由」「卒業後から見る大学の良い点」等お寄せいただければと思います。

QRコードを読み込んでいただくか、盛岡大学、聖陵同窓会のHPからアクセスしてください。ご協力、宜しくお願い致します。

退職教員訃報

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに皆様にお知らせいたします。

＊加藤　章 先生
（元盛岡大学・盛岡大学短期大学部　学長）

平成28年2月6日、84歳で逝去されました。

平成11年度より文学部児童教育学科の教授として着任され、翌年平成12年度から平成17年度までの6年間、大学並びに短期大学部の学長を務められました。ご専門は日本史学・社会科教育学（歴史教育学）で、「歴史学」「社会教材研究」の授業を担当。ご退職後も盛岡大学名誉教授、学校法人盛岡大学顧問としてご尽力いただいておりました。

＊横沢京子 先生
（元盛岡大学文学部英米文学科　教授）

平成27年10月13日、70歳で逝去されました。

平成元年から平成18年までの18年間、盛岡大学文学部英米文学科（現　英語文化学科）教授を務められました。ご専門はアメリカ文学で、在職中は「アメリカ文学史」「聖書と英米文学」等の授業を担当。学生への懇切丁寧な指導には定評があり、親しまれるお人柄でした。

平成26年度 聖陵同窓会決算報告
（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

収入の部　（単位：円）

項　目	予算額	決算額
入会金	2,000,000	2,060,000
終身会費	4,000,000	4,120,000
雑収入	20,000	11,023
特定預金取崩収入	0	0
計	6,020,000	6,191,023
繰越金	845,822	845,822
合計	6,865,822	7,036,845

支出の部　（単位：円）

項　目	予算額	決算額
事業費	3,210,000	2,975,846
事務費	10,000	1,436
通信費	50,000	35,087
会議費	100,000	113,896
慶弔費	100,000	34,700
旅費交通費	100,000	35,000
財政基金繰入支出	2,000,000	2,000,000
計	5,570,000	5,195,965
繰越金	1,295,822	1,840,880
合計	6,865,822	7,036,845

事務局だより

2016年の年明けは雪もなく一時は冬季国体の開催も危ぶまれましたが、その後は冬らしい冬となり、国体も無事開催されました。盛岡大学の学生では、前ページに記事を書いてくれた米田さんが2種目に出場。健闘をみせてくれました。

今年度のホームカミングデーの案内に併せた同窓生の住所確認には多数のご協力をいただき、誠にありがとうございました。住所変更登録は同窓会のホームページからも出来ますのでご活用ください。

ホームページと言えば、盛岡大学HPのリニューアルに併せ、聖陵同窓会HPもリニューアルを行いました。スマートフォン等で見た場合も見やすく表示できるページとなっております。また、同窓会ではFacebookページも始めました。あまり更新できておりませんが、同窓生同士の交流の場になってくれればと思います。

もう1つ交流の場のご紹介です。「滝沢ふるさと会」をご存知でしょうか。「県外在住の滝沢市とゆかりのある方々の親睦・交流」を目的とし「ゆかりのある方、興味がある方など、どなたでも加入できます。」という会です。興味を持たれた方は滝沢市企画政策課（電話019-656-6561）、若しくは「滝沢ふるさと会」で検索してみてください。

会報の校正作業中に日景敏夫先生の訃報が飛び込んできました。平成28年2月27日、74歳で逝去されました。英米文学科・英語文化学科で平成3年から平成23年まで21年の長きに渡り教鞭をとられ、昨年10月のホームカミングデーにも元気なお姿を見せていただいておりました。心からご冥福をお祈りいたしますとともに皆様にお知らせいたします。

編集後記

■ 編集委員
佐藤大裕（平成12年度卒）／吉田典子（昭和60年度卒）／畑村とも子（昭和60年度卒）／上條尚樹（平成15年度卒）／吉田智子（平成15年度卒）／川田彩乃（平成20年度卒）／佐々木啓（平成23年度卒）／佐藤克俊（平成24年度卒）／戸羽智美（平成24年度卒）／佐々木南（平成24年度卒）／松田祥絵（平成25年度卒）

校舎増築の続報、いかがでしたでしょうか。今から完成予定の夏が楽しみです。今年はさらに既存校舎の机の入れ替えも予定されているそうです。一方、昨年のホームカミングデーでは卒業年次や年齢を超えた交流が各所で見られました。母校をとおして続いていく交流。変化や現在を伝える記事を作成しながら、こういった変わらないことも紹介していきたいと思いました。引き続きみなさまからの情報提供をお待ちしています。